



〈坂口安吾生誕祭116〉

2022年10月20日(木) 10:00~16:30

第1部/安吾のふるさとを歩く―安吾風の館「見学とゆかりの地めぐり

案内人/久志田 渉(安吾の会事務局長)

第2部/講演①「松之山、桐生」 講師/坂口綱男(写真家・坂口安吾長男)

講演②「世界はもっと豊かだし、人はもっと優しい」

講師/森達也(映画監督・作家)

2022
10
20
Thu

資料提供/
新潟市 安吾風の館

2年半の間に新型コロナウイルス感染症の大流行で世相は変わり、半年のうちにロシアのウクライナ侵略戦争で世界は変わった。先行きの見えないこんな時代を、私たちはどのように生きていけばいいのか。「戦争の時代」を強靱な精神で生き抜き、廃墟の中から「生きよ！ 墮ちよ！」と呼びかけたのが坂口安吾だった。今年で生誕116年を迎える「安吾生誕祭」を機に、『墮落論』に倣って「人間復活宣言」を発してみたい。

「もっと豊かに！ もっと優しく！」

問い合わせ:

坂口安吾生誕祭実行委員会事務局(新潟市文化政策課) tel.025-226-2631

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、イベント参加時には検温、マスク着用などのご協力をお願い致します。※事前の予告なしにイベント内容が変更となる場合があります。

〈坂口安吾生誕祭116〉 2022年10月20日(木) 10:00~16:30

第1部 まち歩き

安吾のふるさとを歩く —「安吾 風の館」見学とゆかりの地めぐり

◆案内人／久志田 渉(安吾の会事務局長)

日時／10月20日(木)10:00~11:30

集合場所／旧市長公舎「安吾 風の館」
(新潟市中央区西大畑町5927-9)

定員／20人 参加費／500円(ガイドホン代)

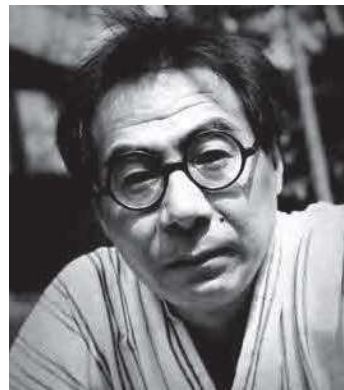
申し込み／新潟市文化政策課(025-226-2631)へ電話で申し込む

受付期間：9月21日(水)9:00 ~ 10月5日(水)17:00

参加を希望する全員の氏名。電話番号をお伝えください。



安吾詩碑を訪れたまち歩き



坂口 安吾

(さかぐち・あんご)

1906(明治39)年10月20日、新潟市西大畑町に生まれる。旧制新潟中学から東京・豊山中学に編入学、東洋大学印度哲学倫理学科卒業。46年「墮落論」を発表、「半年のうちに世相は変わった」というメッセージが廃虚に佇む人々に衝撃を与え、一躍脚光を浴びる。以後、太宰治らとともに無頼派の旗手として小説、評論、エッセイなど旺盛な創作活動を続ける。日本の伝統主義や権威の欺瞞性を批判する鋭い文明批評を展開し、戦後の文学や思想に大きな影響を与えた。55年2月17日、群馬県桐生市の自宅で脳出血のため48歳で死去。主な作品に「風博士」「日本文化私観」「白痴」「桜の森の満開の下」「不連続殺人事件」「安吾巷談」「夜長姫と耳男」「安吾新日本地理」ほか。

第2部 講演会

開会 (13:30~13:45)

講演①(13:45~14:45)

「松之山、桐生」

◆講師／坂口 綱男(写真家・坂口 安吾長男)

講演②(15:00~16:30)

「世界はもっと豊かだし、 人はもっと優しい」

◆講師／森 達也(映画監督・作家)

【森 達也氏からのメッセージ】

高校時代、学校の中庭に會津八一の碑はあった。だから會津がOBであることは知っていた。でも安吾の碑はどこにもなかった(今もないと思う)。だからOBとは知らなかった。知ったのは高校を卒業して上京して大学に通いながら、たまたま手にした『墮落論』や『桜の森の満開の下』に衝撃を受けたからだ。

その日私は日本の滅亡を信じ、私自身の滅亡を確信した(墮落論)。

安吾は決して第三者的に語らない。主語は常に一人称単数の自分だ。だからこそ信頼できる。世界がこんな時代になったからこそ、その屈折した無頼がすがすがしい。

会場／りゅーとぴあ 新潟市芸術文化会館 能楽堂(新潟市中央区一番堀通町3-2)

定員／250人(先着順、要事前申し込み) 参加費／無料

申し込み／新潟市役所コールセンター(025-243-4894)へ電話で申し込む

受付期間：9月27日(火)8:00~10月16日(日)21:00

参加を希望する全員の氏名。電話番号をお伝えください。



りゅーとぴあ能楽堂



坂口 綱男／写真家

(さかぐち・つなお)

1953年群馬県桐生市で坂口安吾の長男として生まれる。1978年からフリーのカメラマンとして広告写真や雑誌の写真撮る。主な著書に『安吾のいる風景』、写真集『Le temps arrete』『安吾と三千年と四十の豚児と』ほか。



森 達也／映画監督・作家

(もり・たつや)

1956年広島県生まれ。多感な青春時代を新潟市で過ごす。新潟高校卒業。主な映像作品に「A」「F A K E」「i—新聞記者ドキュメント」など。著書は「放送禁止歌」「A3」「自分の子どもが殺されても同じことが言えるのか」と叫ぶ人に訊きたい「千代田区一番一号のラビリンス」など多数。現在、関東大震災直後に行商団9人が自警団に惨殺された「福田村事件」を題材にした、自身初となる劇映画を制作中。



□第1部 集合場所「安吾 風の館」



□第2部会場 りゅーとぴあ能楽堂

■安吾 風の館企画展 「安吾の捕物帖」

日時／2022年9月3日(土)~12月18日(日)

会場／旧市長公舎「安吾 風の館」展示室 (新潟市中央区西大畑町5927-9)

入館料／無料 休館日などの問い合わせは tel.025-226-2631

バス 新潟駅万代口バスターミナル7番線から、または
案内 観光循環バス乗車「西大畑坂上」バス下車徒歩3分



■主催／坂口安吾生誕祭実行委員会

(安吾の会、松之山安吾の会、安吾全集を親しむ会、桐生安吾を語る会、東洋大学OB会、にいがた文化の記憶館、BSN新潟放送、新潟日报社、新潟市、新潟市芸術文化振興財団)

■協力／新潟・市民映画館シネ・ウインド ■デザイン／株式会社 創造遊園地

■問い合わせ／坂口安吾生誕祭実行委員会事務局(新潟市文化政策課内) tel.025-226-2631

※新型コロナウイルス感染防止のため、参加者には検温、マスク着用などのご協力をお願い致します。※事前の予告なしにイベント内容が変更となる場合があります。